



平成29年11月13日

各位

会社名 株式会社リボミック  
代表者名 代表取締役社長 中村義一  
(コード番号：4591 東証マザーズ)  
問合せ先 執行役員経営企画部長 中村恵美子  
TEL. 03-3440-3745

## アプタマーを利用して従来技術の弱点を克服 ～株式会社イーベックとの共同研究の成果を論文発表

昨年12月に開始した株式会社イーベックとの共同研究の成果が、学術専門誌 *BIOCHIMIE* の電子版（論文題目「Alkaline-tolerant RNA aptamers useful to purify acid-sensitive antibodies in neutral conditions」）に掲載されましたので、お知らせいたします。

### 抗体の変性を防ぐ革新的な精製技術

当社のIgGアプタマー（RBM101）は、抗体のFc部分に結合し、抗体を中性条件で分離・精製できることを特徴としております。当社では、医薬抗体の開発を主業務としている株式会社イーベックとの間で、本アプタマーに関する共同研究を実施してまいりました。その結果、既存の分離剤（酸性の溶液を用いる必要がある）では、変性し、活性を失ってしまう複数の抗体について、本アプタマー（酸性の溶液を用いる必要がない）では、活性を損ねず、かつ高い収率で精製できることが実証され、評価データを蓄積してまいりました。今回、本成果の学術的な意義が評価され、論文が掲載されました。

酸に弱く、既存の分離剤では活性を失ってしまうとして、医薬品開発をあきらめざるを得なかった抗体について、本アプタマーは実用化の突破口を提供する可能性があります。

今後、本論文を基に、国内外の大手製薬会社や化学メーカーへのライセンスアウトを含めた事業化を加速してまいります。

上記論文内容の詳細につきましては、以下のWebページをご参照ください。

(<https://www.sciencedirect.com/science/article/pii/S030090841730278X>)

### 株式会社リボミックについて

株式会社リボミックは、次世代新薬として注目されている核酸医薬の一種「アプタマー医薬」の開発を目的とする、創薬プラットフォーム系バイオベンチャーです。当社の創薬基盤技術である「RiboARTシステム」は、様々なアプタマー医薬の開発に応用することが可能です。株式会社リボミックは疼痛・眼疾患・骨疾患を始めとして、広い領域のUnmet Medical Needs（未だに満足すべき治療法のない疾患領域の医療ニーズ）に対する新薬の提供を目指してまいります。

以上